

これまでの経緯

H30.8~R元.8 健康・スポーツ環境充実検討会

R元.11~R2.4 武道館機能を有する多目的施設整備基本計画検討委員会

R2.4 富山県武道館整備基本計画策定 (概算整備費 85~95億円)

R3.3 富山県武道館新築工事基本設計策定 (概算整備費 87.4億円)



➤ 資材高騰等による建設費の上昇 (87.4億円→約110億円)

➤ 建設予定地周辺の環境が計画策定時に比べて大きく変化



R5.2 県議会 整備費予算の計上を見送り

R5.4~7 富山県武道館整備基本計画の見直し検討委員会

〔委員長：堀田朋基氏（富山県スポーツ推進審議会会長）
委員：学識経験者、経済界、スポーツ関係者、行政の方9名〕

計3回の会議で、整備方針（コンセプト、機能・規模等）を再検討



○令和5年6月県議会における議論

○武道館利用者や近隣住民等の意見聴取

⇒ 基本計画改定版（案）をとりまとめ（R5.7月）



○パブリック・コメント（8/1~18）



R5.9 「基本計画改定版」を策定・公表

◆基本計画(改定版)のポイント

第1 計画改定の背景

- 1 県営武道館(富山・高岡)の老朽化
- 2 現行計画策定後(R2.4)の環境変化等

第2 施設のコンセプト

現行計画の3つのコンセプトから

「**武道競技の振興・競技力向上に寄与する施設**」に絞り込み

- ・富山県の武道の拠点となる施設
- ・武道競技の公式大会が開催可能な施設 など

第3 施設の活用イメージ

武道競技の振興・競技力向上



柔道大会



剣道大会

武道競技以外での活用

〈例〉卓球、バドミントン、ソフトバレーボール、
ダンス、ヨガ など



シッティングバレーボール

第4 計画の概要

1 立地場所

①整備費の削減・令和9年度中の開館

- ・単層構造で建設可能な広さの土地
- ・用地取得に時間を要しない県有地

②駐車場の確保

- ・敷地内に駐車場が確保できる土地

「県総合運動公園 のびのび広場」

- ・駐車場が多く確保でき、富山ICからのアクセスが良く、大会開催会場に適している
- ・同公園内には陸上競技場、屋内グラウンド、近隣には県総合体育センター等があり、スポーツ施設が集積するエリアとなることが期待されること



出典：国土地理院

第4 計画の概要

2 施設機能及び施設規模

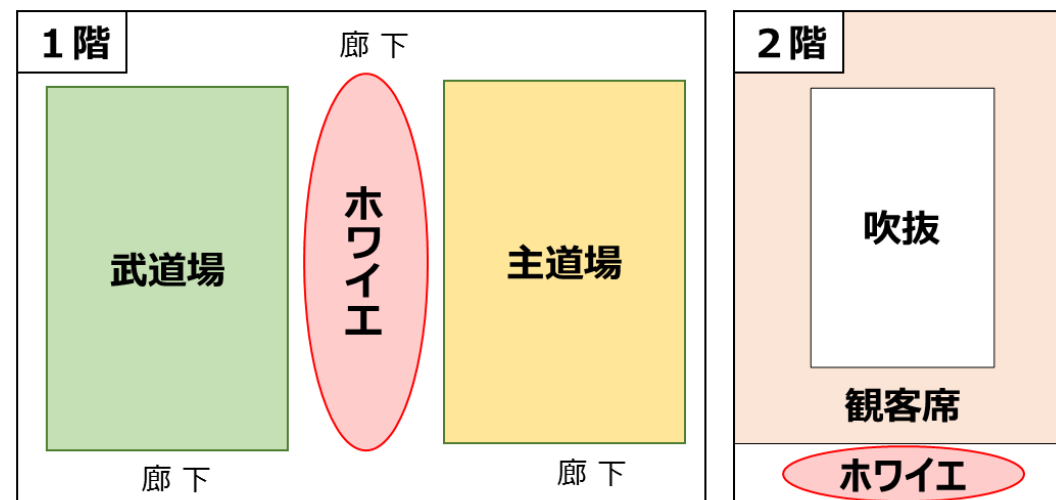
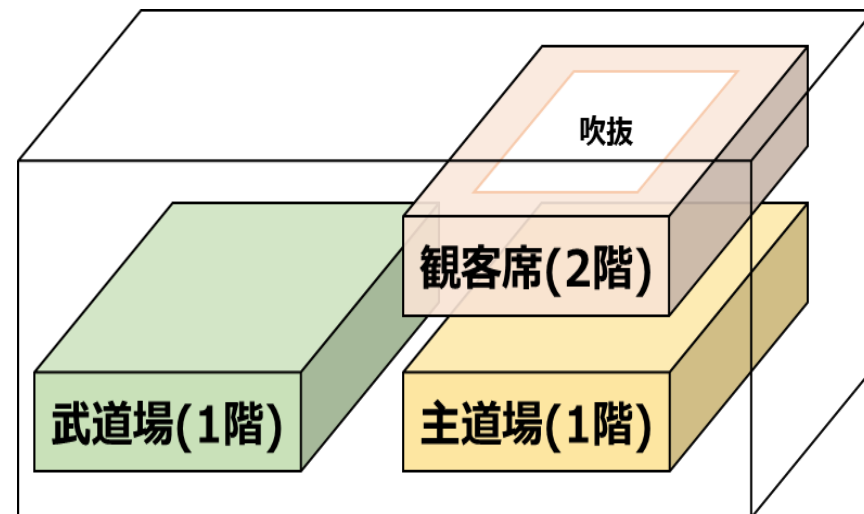
延床面積12,000m²程度

〈現行計画では14,000m²程度〉

機能	規模等
主道場	・競技面積2,000m ² 程度 (柔道6面又は剣道6面) ・観客席1,500席程度
武道場	・競技面 (畳敷き3面及び板敷き3面) 可動間仕切り設置
その他	エントランス、ホワイエ、廊下、階段、 事務室、会議室、医務室、トイレ、 機械室、搬入ヤード、器具庫、 大会諸室、選手控室、更衣室 等

レイアウトイメージ

単層構造(2階建) 建築面積7,500m²程度



第5 施設整備にあたり考慮すべき事項

- (1) 駐車場の確保
- (2) ユニバーサルデザインへの配慮
- (3) 武道競技以外での活用への配慮
- (4) 県産材等の活用
- (5) 経済性・環境への配慮
- (6) 既設の武道館の統廃合
- (7) 弓道場、相撲場について
- (8) 公共交通機関との連携

第6 整備費と整備スケジュール

■概算整備費

87.3～91.4億円

〈現行計画では85～95億円〉

■維持管理・運営費

年間支出額133百万円

〈現行計画では170百万円〉

※今後、効率的・効果的な手法を検討

■整備スケジュール

令和9年度中の開館を目指す

		令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
基本計画の見直し		←→																			
設計	設計者選定					3か月 ←→															
	基本設計					9か月 ←→															
	実施設計					9か月 ←→															
建設	施工者選定									6か月 ←→											
	建設工事													2年 ←→							
開館準備																		2か月 ←→			
開館																		★			

(参考1)今後の予定

■9月県議会 基本設計に係る補正予算の提案

○富山県武道館の整備に係る基本設計 241万円

<R⑥債務負担行為設定 7,213万円>

改定した基本計画に基づき、基本設計を実施

(参考2)パブリック・コメントの概要

■募集期間 8月1日(火)~8月18日(金)

■意見件数 120通 187件の意見

■意見の内訳

項目	件数
①施設のコンセプトと役割	4
②施設の活用イメージ	9
③立地場所	88
④施設機能及び施設規模	48
⑤施設整備にあたり考慮すべき事項	27
⑥整備費と整備スケジュール	6
⑦その他	5

(参考3)パブリック・コメントで反映した内容

■**武道競技以外での活用への配慮**

→幅広い県民に活用いただけるよう、多様な運用に努め、例えば、主道場や武道場では武道競技以外のスポーツに、会議室等では、茶道、華道、書道等の文化活動に利用できるよう配慮する必要がある。

■**公共交通機関との連携**

→施設の利用促進に資するため、公共交通機関と連携しながら、公共交通の利便性向上(バスの増便、シャトルバス、バス停の増設・位置変更など)について、検討を進める。

※意見の概要や県の考え方については、以下のURL(県HP)に掲載しています。

<https://www.pref.toyama.jp/1405/budoukan/public2.html>

(参考4)スポーツ施設の集積による地域活性化・ウェルビーイングの向上

「県総合運動公園」の魅力向上

さまざまな世代の県民で賑わう「新しい県総」を地元プロスポーツチームなど官民連携で築いていく

○富山県武道館の新設による相乗効果

- 屋内施設としての新たな魅力の付加、新規利用者の増
- 施設の相互利用による利便性・稼働率の向上
(武道館利用者によるトレーニング施設利用など)

○官民連携による「パークマネジメント」(*)の導入の検討

- 民間投資、収益事業の実施などによる魅力向上・活性化
- ※従来の行政主導の手法から転換し、県民や企業等と連携しながら運営する手法

○カターレ富山との連携

- 地域活性化プロジェクト等による集客増
(例：多様な健康プログラムの開催など)

○公共交通機関との連携

- 利便性の向上 (バスの増便、シャトルバス、バス停の増設・位置変更など)



【新設】
富山県武道館
※詳細な配置計画は今後検討



スポーツ施設等が集積するエリア

空港スポーツ緑地(県) <株野上緑化>
・陸上競技場、テニスコート(6面)

総合体育センター(県) <富山県スポーツ協会>
・大アリーナ(バドミントン1面、バスケットボール2面、バレーボール3面、テニス3面等)
・中アリーナ(バドミントン1面、バスケットボール2面、バレーボール3面、テニス2面等)
・50m温水プール、飛込温水プール、スポーツガウナ

富山産業展示館[テクノホール](県・市)
<一般財団法人富山産業展示館直営>
・西館(大展示場、和室)
・東館(大展示場、大会議室)



富山南総合公園(市)
<富山市スポーツ協会>
・体育文化センター
メインアリーナ(バスケットボール2面等)
サブアリーナ(卓球9面)
・庭球場(テニス4面)
・多目的広場(サッカー3面)
・富山能楽堂
<指定管理者:アルコット(株)>

総合運動公園バス停
(建設予定地まで徒歩11分・8本/日)

国際健康プラザ(県) <富山県健康づくり財団>
・健康スタジアム(トレーニング場、プール、温泉)
・生命科学館、屋外健康づくり施設、イタイイタイ病資料館

栗山バス停
(建設予定地まで徒歩11分・55本/日)

富山県総合運動公園(県) <富山県民福祉公園>
・陸上競技場(トラックフィールド、フィールド、トレーニング場)・屋内グラウンド(サッカー半面、ハンドボール2面)
・多目的広場(軟式野球2面、ソフトボール2面、サッカー2面)

出典：国土地理院